

外装用 低汚染弱溶剤2液型シリコン変性樹脂塗料



(社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	M03121
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

マイルドSi マイルドSi 弾性

MILD U・MILD U DANSEI

耐久性と価格のバランス

マイルドSiは、マイルドUをベースとして、さらに耐久性の高いシリコン樹脂のシロキサン結合を導入することで、耐久性と価格のバランスを考えた塗料です。シリコン樹脂塗膜が、高耐候性を発揮します。

特長

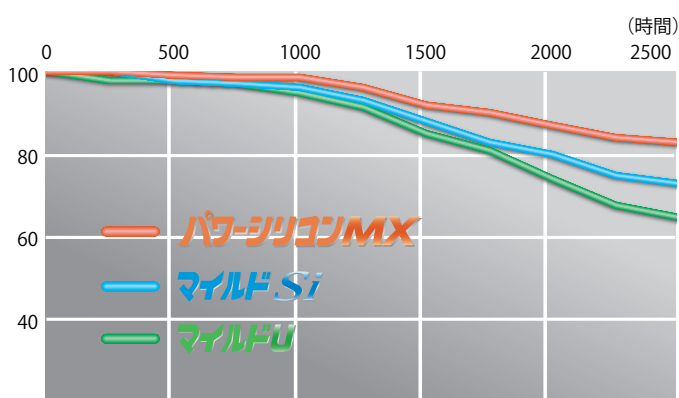
- 高耐候性** シロキサン結合を有するシリコン樹脂塗膜が、高耐候性を発揮します。
- 低汚染性** 強靱な塗膜が、優れた耐汚染性を発揮します。
- 防カビ・防藻性** 水溶性成分を含まないため、優れた防カビ・防藻性を発揮します。
- 幅広い素材に適用** 下塗りを変えることで、金属系素材、窯業系素材ともに適合します。
- 塗り替えに最適** 弱溶剤系で、新築はもとより、耐溶剤性の悪い旧塗膜の塗り替えにも最適です。
- 優れた作業性** 溶剤系の塗料に比べ臭気が少なく、作業環境や塗装作業性に優れています。

用途

- 窯業系素材** 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装
新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装
- 金属系素材** 金属系サイディングボード 鋼構築物 鉄部 亜鉛引き鉄板
その他、非鉄金属面(亜鉛、ステンレス、アルミ等)への塗装

性能

■促進耐候性試験 (キセノンランプ法)



光沢保持率

基材：スレート
試験色：グレー (N4.5 程度)

■塗膜性能

窯業系屋根材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	80
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K5600 (水道水 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K5600 (水酸化ナトリウム5%水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
耐湿潤冷熱繰返し性	JIS K5600 (硫酸5%水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K5600 23℃×18h浸せき/−20℃×3h/50℃×3h10サイクル	異常なし
凍結融解繰返し性	−20℃×16h浸せき/23℃×8h浸せき10サイクル	異常なし
ひっかき硬度	JIS K5600 (鉛筆すり傷法)	硬度B~HB 弾性3B~B

試験塗板：スレート板 乾燥条件：23℃×7日間

金属系屋根材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	84
耐おもり落下性	JIS K5600 (デュボン式 1kg×50cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐屈曲性	JIS K5600 (円筒形マンドレル法)	2mm
ひっかき硬度	JIS K5600 (鉛筆すり傷法)	硬度B~HB 弾性3B~B
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板(鉄板) 乾燥条件：23℃×7日間
※下塗り材としてRMプライマーを塗付しています。

荷姿

マイルドSi	15kgセット[主剤13.5kg 硬化剤1.5kg] 4kgセット[主剤 3.6kg 硬化剤0.4kg]
マイルドSi弾性	15kgセット[主剤13.5kg 硬化剤1.5kg] 4kgセット[主剤 3.6kg 硬化剤0.4kg]
リフレッシュフィラー	16kg
2液マイルドウォールシーラー	11kgセット[主剤10kg 硬化剤1kg]
RMプライマー	15kgセット[主剤14kg 硬化剤1kg] 常備色3色：グレー(日塗工N-55程度)、赤さび(日塗工09-40L程度)、白
RMシンナー	16L・4L ※シンナーはA(春秋型)、S(夏型)、W(冬型)、W速乾用があります。

窯業系素材

■平滑仕上げ、下地パターンを変えない場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶セット)	可使用時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1 (~2)	0.1~0.15 ^{※1}	73~110	10h以内	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—

上塗り	マイルドSi 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							
上塗り	マイルドSi弾性 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※1 下地の吸い込みが激しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗り、もしくは「リフレッシュサフェーサーエゴ」を塗装してください。
 ※旧塗膜の種類(耐溶剤性が著しく弱い)や付着状態によってはリフティングが発生する場合があります。

■ざざ波模様仕上げ、下地調整を必要とする場合 (窯業系サイディングボードへの施工は避けてください。)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶セット)	可使用時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
中塗り	リフレッシュファイラー 16kg	0.2~0.5kg (希釈水) 0.5~1.0kg (希釈水)	砂骨ローラー 中毛ウールローラー	1	0.8~1.5 0.3~0.5	11~20 32~53	—	—	16h以上	—

上塗り	マイルドSi 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							
上塗り	マイルドSi弾性 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							

※塗付量にシンナー・希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※下地の劣化が激しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。

金属系素材

■平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶セット)	可使用時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L (RMシンナー) 2.5~5L (RMシンナー)	ハケ・ローラー エアレス	1	0.11~0.15 0.15~0.17	100~136 88~100	4h以内	—	4h以上 10日以内	—

上塗り	マイルドSi 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※さびの発生が著しい場合は、エポックマイルド#2000を塗装してください。

■平滑仕上げ：新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数(回)	塗付量(kg/m ² /回)	塗面積(m ² /缶セット)	可使用時間(23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル・PC・RC等の下地に付着しているレイタンス・土砂・ほこり・油脂類は除去し、水分率8%以下、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1 (~2)	0.1~0.15 ^{※1}	73~110	10h以内	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—

上塗り	マイルドSi 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RMシンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
		4~5L (RMシンナー)	エアレス							

※塗付量にシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。
 ※1 下地の吸い込みが激しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗りしてください。

注意事項

【仕様全般】

- 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)・低気圧(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気圧で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたり乾燥しにくくおそれがあります。
- 塗装前後、降雨や結露等で白化した場合、目荒しを行って再度塗装してください。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 水洗後、1日以上乾燥を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。攪拌不足は膜厚不足・仕上がりに不良等が起きますのでご注意ください。
- 塗装間隔時間は標準であり、立地条件や気象条件により異なります。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面膜が異なるために若干の色相差が生まれますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- ガラス、アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにウエスに水をしみ込ませてふき取ってください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
- 既塗りを塗る場合は、水をかけた後に行い、その後の水濡れは急入りにしてください。
- 著しく劣化したサイディング材へ塗装すると悪影響が及ぶため、塗装は避けてください。
- 1回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きくなり、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装してください。(合計3回塗り仕上げてください。)
- 目地部分の塗り残しは、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまったり、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装時に換気扇や排気機を止めてください。換気扇が室内に入らないようにしてください。
- 塗料が乾燥し始める時は、換気扇を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また、適正希釈にご注意ください。
- 汚れ・傷等により補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- シーリング材への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗料の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起すことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗料の適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
- 排水溝には捨ててください。
- 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表面劣化部分から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認の上、本施工に入ってください。
- 日光が降りているなど劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒しを行ってください。
- 濃色や原色に近い色彩の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性のある部分への塗装は避けてください。
- 上塗りイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など、彩度の高い色目を塗装する場合は、膜厚を高めるため、膜厚性の良い色色であらかじめ塗装を行ってください。
- 艶調整品は、被塗物の形状・膜厚や色目・塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。特に、ハケ・ローラー塗装時に塗り残し箇所などで艶むらを生じやすい傾向があります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 艶消し塗装される場合は、当社営業担当にご相談ください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。(専用シンナーをご使用ください。)
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マーゼル等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 硬化剤はイソシアネート含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
- ローラー塗装時、環境に応じて巻き込み泡が発生する場合がありますので、「マイルド用ローラー調整剤」を主剤1缶に対して100cc(100ml)添加してください。
- 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
- 2液型塗料に使用するハケ・ローラーは、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷蔵所に保管してください。また、開栓時は単目を使い切ってください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151

東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2005